

教員名	佐藤英人	所属学科	地域政策学科
【ゼミでは何を学ぶのか】 佐藤英人ゼミでは都市地理学や経済地理学の視点から、現代の都市問題（特に少子高齢化と人口減少社会に向けたまちづくり、大規模災害に強い安心・安全な都市像など）を考えていきます。発表や議論を通じて、問題発見能力や問題解決能力、プレゼンテーション能力の素養を高めることが本ゼミの目標です。			
【どのように学ぶのか】 3年生の前期は各自の問題関心に基づいて文献研究を行います。地理学評論や人文地理、経済地理学年報などの学術誌に掲載された論文を数本選び、内容を要約して、文献の読み方を学びます。3年生の後期は4年生で執筆する卒業論文に向けた研究テーマや研究方法、分析対象地域などを提案して頂き、立論の仕方を学びます。 毎回、履修者数名に発表を求めて、発表者のプレゼンテーションを基に議論します（レジュメやパワーポイントを作成して頂きます）。したがって、発表者には入念な事前準備が、出席者には議論への参加が強く求められます。評価はプレゼンテーションの内容、議論への参加度、レポートの完成度などを勘案します。 日頃から世の中で起こっている出来事に関心を持ち、自分自身の考えや意見を整理しておきましょう。ゼミは講義と違い、教員から指示された課題をこなす「場」ではなく研究の「場」です。研究とは新しいアイディア、発想、考え方などを生み出す、知の創造ですから一朝一夕で完結しません。自ら進んで試行錯誤する労力を惜しまない方の履修を心より歓迎します。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 都市に関わるさまざまな業種（公務員、金融・保険・不動産業、シンクタンク等）への就職や大学院等への進学			
【おすすめの入門書・基本テキスト】 ・藤井正・神谷浩夫編著（2014）『よくわかる都市地理学』，ミネルヴァ書房，214p ・野間晴雄・香川貴志・土平博・山田周二・河角龍典・小原丈明編著（2017） 『ジオ・パルNEO地理学・地域調査便利帖（第2版）』，海青社，286p			
【まだ見ぬ君へのメッセージ】 地理学の醍醐味は、何と言ってもフィールドワークです。自分の足で現地に赴き、自分の目で物事を観察し、自分の耳と口を使って他者と対話をする。既存の統計書や資料からでは得られないデータを現地で収集する大切さをぜひ、学んでください。フィールドではさまざまな方とお会いします。経大生として恥ずかしくない礼節を重んじる方の応募を心よりお待ちしております。ゼミを通じて研究のみならず、人間としても、ひと回りもふた回りも成長できるように頑張りましょう！			